※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1301 |
|---|---|

# 令和８年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 工芸Ⅲ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・工芸Ⅰ・Ⅱで学んだ基礎的な技術、技法を活かしつつ造形表現における発展的な技術・技法について学習します。
・普段何気なく使っている工芸品について理解を深め、「用」と「美」について真剣に考える機会を持ち、制作過程を体験することからたくさんのことを学び感じ取ってほしいと思います。
・これまでの授業でたくさんの素材に触れることで学習してきたことを活かし、さらに発展した技法を学び、それを使って立体・平面作品の制作を行うことで技能や表現についてバランスよく学習します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや提出作品で評価します。
・課題の完成に向け、積極的に取り組もうとしているかを授業態度やワークシートで評価します。

2　学習の到達目標

工芸の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現や工芸に関する技術などの能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深めるために次のとおりの目標を目指す。

【知識及び技能】
　素材の特性を理解し、用途に合わせた技術、技法を用いて積極的に創造的な工芸の活動に取り組むとともに必要に応じて、道具を使い分け、自分の感性や知識を活かして表現する。

【思考力、判断力、表現力等】
　造形的な良さや美しさ、表現とは何か、また、工芸の働きなどについて考えたうえで、自分の価値意識をもって制作に取り組むことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】
　主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、日常生活と工芸との結びつきを考えるとともに、工芸の伝統と文化に触れることで生活や社会を心豊かにするために工夫できるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・対象や事象を捉える造形的な視点などについて理解しているか。<br>・工芸に関する技術、技法を理解し、課題に取り組めているか。 | ・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考えを深め、工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めているか。<br>・創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身につけるとともに、扱う材料や用具の特性を活かし、表現方法を工夫しているか。 | ・工芸や工芸の伝統と文化と豊かに関わり主体的に制作に取り組もうとしているか。<br>・工芸的な観点を持って素材と向き合い、創造的活動に意欲的に取り組もうとしているか。 |

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| ステージ１ | オリエンテーション | 授業の決まり<br>内容説明<br>教材配布 | b:説明を受け、指示通りに教材等に記名し適切に収納できた。<br>c:授業の決まりや流れを積極的に理解するよう取り組む。 | | 提出ﾌｧｲﾙ | 提出ﾌｧｲﾙ |
| | 紙立体 | 正多面体の制作<br>カッターナイフの使い方<br>接着剤の特性 | a:道具の使い方を理解し、正しく扱うことができた。<br>b:自分の感性や知識を活かし、直線の美しさや面の構成について考えて効果的に表現することができた。<br>c:美しい正多面体を制作するために積極的に取り組むことができた。 | 提出作品 | 提出作品 | 提出作品<br>観察 |
| | 木材工芸（カトラリー・箸の制作） | 素材の特性を知る<br>木工用やすりや小刀などの道具の使い方 | a:木材（黒檀）の特徴を理解し創意工夫して制作している。<br>b:日本の伝統的な表現のよさを活かして制作の構想を練っている。<br>b:意図に応じて材料や用具を活用するなど手順や技法を吟味し、創意工夫して制作している。<br>c:主体的に発想して制作の構想を練ることができている。 | ﾜｰｸｼｰﾄ<br>提出作品<br>観察 | ﾜｰｸｼｰﾄ<br>提出作品 | 提出作品<br>観察 |
| ステージ２ | 木材工芸（ウッドキューブパズル） | 素材の特性を知る<br>糸鋸などの道具の使い方 | a:道具の選び方や特徴を理解し、正しく扱うことができた。<br>b:自分の作品の内容に沿って木材の組み合わせを考えて構成することで作品の効果を高めることができた。<br>c:木材の特性を理解したうえで、積極的に取り組むことができた。 | ﾜｰｸｼｰﾄ<br>提出作品 | ﾜｰｸｼｰﾄ<br>提出作品 | 提出作品<br>観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ステージ３ | 堆朱制作 | 堆朱の特徴について<br>電動式糸鋸の使い方 | a:堆朱（樹脂）の特性を理解し、用途に合わせた道具、技法を用いて制作に取り組むことができた。<br>b:自分の作品の内容に沿った表現方法を選択し、作品の効果を高めることができた。<br>c:素材の特性を理解したうえで、積極的に取り組むことができた。 | ﾜｰｸｼｰﾄ<br>提出作品 | ﾜｰｸｼｰﾄ<br>提出作品 | 提出作品<br>観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度